

# 乳房の構成分類と平均乳腺線量 推定結果レポート

推定結果は、撮影条件などの各種条件により変動するものであり、あくまでも参考値です。

県立広島病院  
放射線診断科

検査日: 2016/6/1

I D: \*\*\*\*\*

氏名: \*\*\*\*\*

年齢: \*\*

## 「乳腺濃度を知りましょう。」

|   |       |        |
|---|-------|--------|
| 右 | 乳腺 7% | 脂肪 93% |
| 左 | 乳腺 8% | 脂肪 92% |

あなたの乳房の構成分類は **脂肪性** と推定されました。

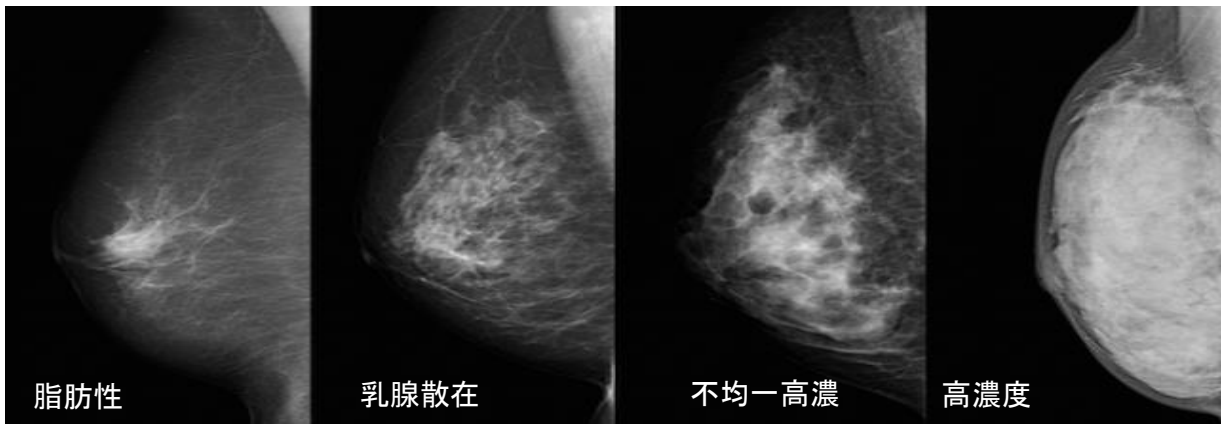
脂肪性: 乳房はほぼ完全に脂肪に置き換えられて、病変が撮影範囲に入っていれば検出は容易です。

## 「平均乳腺線量について」

マンモグラフィによる乳腺の被曝は、平均乳腺線量で評価され、マンモグラフィガイドラインでは撮影1回につき、3mGy以下になることを推奨しています。

今回の平均乳腺線量は1回につき 右 **3.34** mGy と推定されました。  
左 **3.57** mGy

## 乳房の構成分類について



画像提供:「NPO法人 乳がん画像診断ネットワーク」

白い部分が乳腺で、高濃度になるほど病変の検出は困難となります。

乳房内の乳腺実質の量と分布(脂肪の混在する程度)に関する評価で、病変が正常乳腺に隠されてしまう危険の程度を示すものです。

|        |  |
|--------|--|
| 脂肪性    | 乳房はほぼ完全に脂肪に置き換えられている。病変が撮影範囲に入っていれば検出は容易である。     |
| 乳腺散在   | 脂肪に置き換えられた乳房内に乳腺が散在している。病変の検出は容易である。             |
| 不均一高濃度 | 乳腺実質に脂肪が混在し、不均一な濃度を呈する。病変が正常乳腺に隠される危険がある。        |
| 高濃度    | 乳腺実質内に脂肪の混在はほとんどなく(いわゆるdense breast)、病変検出率は低くなる。 |

「マンモグラフィガイドライン」および「マンモグラフィによる乳がんの検診手引き」より。

# 乳房の構成分類と平均乳腺線量 推定結果レポート

推定結果は、撮影条件などの各種条件により変動するものであり、あくまでも参考値です。

県立広島病院  
放射線診断科

検査日: 2016/6/1  
I D: \*\*\*\*\*  
氏名: \*\*\*\*\*  
年齢: \*\*

## 「乳腺濃度を知りましょう。」



あなたの乳房の構成分類は **乳腺散在** と推定されました。

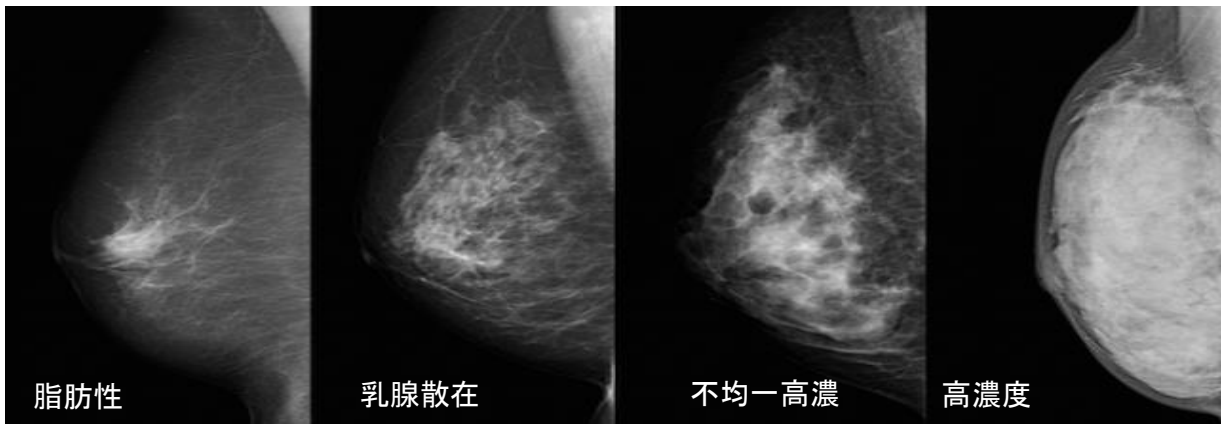
脂肪に置き換えられた乳房内に乳腺が散在して、病変の検出は容易です。

## 「平均乳腺線量について」

マンモグラフィによる乳腺の被曝は、平均乳腺線量で評価され、マンモグラフィガイドラインでは撮影1回につき、3mGy以下になることを推奨しています。

今回の平均乳腺線量は1回につき 右 **2.97** mGy と推定されました。  
左 **3.17** mGy

## 乳房の構成分類について



画像提供:「NPO法人 乳がん画像診断ネットワーク」

白い部分が乳腺で、高濃度になるほど病変の検出は困難となります。

乳房内の乳腺実質の量と分布(脂肪の混在する程度)に関する評価で、病変が正常乳腺に隠されてしまう危険の程度を示すものです。

|        |  |
|--------|--|
| 脂肪性    | 乳房はほぼ完全に脂肪に置き換えられている。病変が撮影範囲に入っていれば検出は容易である。     |
| 乳腺散在   | 脂肪に置き換えられた乳房内に乳腺が散在している。病変の検出は容易である。             |
| 不均一高濃度 | 乳腺実質に脂肪が混在し、不均一な濃度を呈する。病変が正常乳腺に隠される危険がある。        |
| 高濃度    | 乳腺実質内に脂肪の混在はほとんどなく(いわゆるdense breast)、病変検出率は低くなる。 |

「マンモグラフィガイドライン」および「マンモグラフィによる乳がんの検診手引き」より。

# 乳房の構成分類と平均乳腺線量 推定結果レポート

推定結果は、撮影条件などの各種条件により変動するものであり、あくまでも参考値です。

県立広島病院  
放射線診断科

検査日: 2016/6/1  
I D: \*\*\*\*\*  
氏名: \*\*\*\*\*  
年齢: \*\*

## 「乳腺濃度を知りましょう。」



あなたの乳房の構成分類は **不均一高濃度** と推定されました。

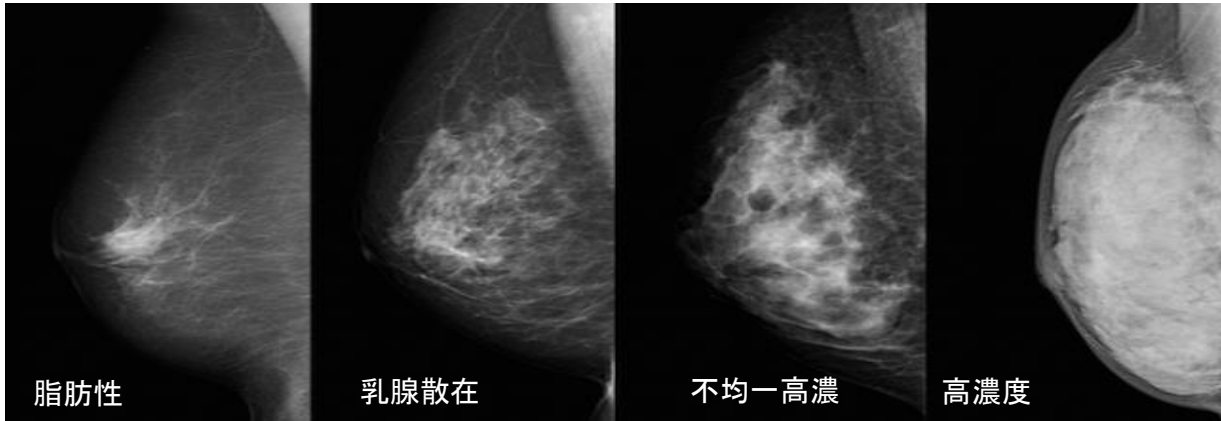
乳腺実質に脂肪が混在し、不均一な濃度を呈し、病変が正常乳腺に隠される危険があります。

## 「平均乳腺線量について」

マンモグラフィによる乳腺の被曝は、平均乳腺線量で評価され、マンモグラフィガイドラインでは撮影1回につき、3mGy以下になることを推奨しています。

今回の平均乳腺線量は1回につき 右 **2.68** mGy と推定されました。  
左 **2.86** mGy

## 乳房の構成分類について



画像提供:「NPO法人 乳がん画像診断ネットワーク」

白い部分が乳腺で、高濃度になるほど病変の検出は困難となります。

乳房内の乳腺実質の量と分布(脂肪の混在する程度)に関する評価で、病変が正常乳腺に隠されてしまう危険の程度を示すものです。

|        |  |
|--------|--|
| 脂肪性    | 乳房はほぼ完全に脂肪に置き換えられている。病変が撮影範囲に入っていれば検出は容易である。     |
| 乳腺散在   | 脂肪に置き換えられた乳房内に乳腺が散在している。病変の検出は容易である。             |
| 不均一高濃度 | 乳腺実質に脂肪が混在し、不均一な濃度を呈する。病変が正常乳腺に隠される危険がある。        |
| 高濃度    | 乳腺実質内に脂肪の混在はほとんどなく(いわゆるdense breast)、病変検出率は低くなる。 |

「マンモグラフィガイドライン」および「マンモグラフィによる乳がんの検診手引き」より。

# 乳房の構成分類と平均乳腺線量 推定結果レポート

推定結果は、撮影条件などの各種条件により変動するものであり、あくまでも参考値です。

県立広島病院  
放射線診断科

検査日: 2016/6/1

I D: \*\*\*\*\*

氏名: \*\*\*\*\*

年齢: \*\*

## 「乳腺濃度を知りましょう。」

|   |        |        |
|---|--------|--------|
| 右 | 乳腺 88% | 脂肪 12% |
| 左 | 乳腺 83% | 脂肪 17% |

あなたの乳房の構成分類は **高濃度** と推定されました。

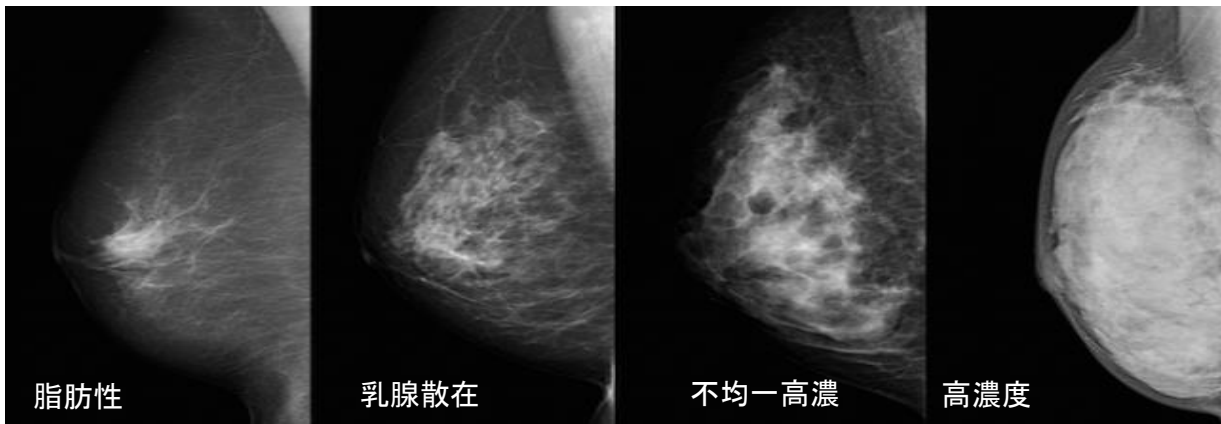
乳腺実質内に脂肪の混在はほとんどなく、病変の検出率は低くなります。

## 「平均乳腺線量について」

マンモグラフィによる乳腺の被曝は、平均乳腺線量で評価され、マンモグラフィガイドラインでは撮影1回につき、3mGy以下になることを推奨しています。

今回の平均乳腺線量は1回につき 右 **2.39** mGy と推定されました。  
左 **2.56** mGy

## 乳房の構成分類について



画像提供:「NPO法人 乳がん画像診断ネットワーク」

白い部分が乳腺で、高濃度になるほど病変の検出は困難となります。

乳房内の乳腺実質の量と分布(脂肪の混在する程度)に関する評価で、病変が正常乳腺に隠されてしまう危険の程度を示すものです。

|        |  |
|--------|--|
| 脂肪性    | 乳房はほぼ完全に脂肪に置き換えられている。病変が撮影範囲に入っていれば検出は容易である。     |
| 乳腺散在   | 脂肪に置き換えられた乳房内に乳腺が散在している。病変の検出は容易である。             |
| 不均一高濃度 | 乳腺実質に脂肪が混在し、不均一な濃度を呈する。病変が正常乳腺に隠される危険がある。        |
| 高濃度    | 乳腺実質内に脂肪の混在はほとんどなく(いわゆるdense breast)、病変検出率は低くなる。 |

「マンモグラフィガイドライン」および「マンモグラフィによる乳がんの検診手引き」より。